

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 公園設備改修事業
-------------------	-----------------------

区分	番号	名 称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	1	快適な住環境づくり
小分類	1	身近な公園・緑地等の創出と保全
主要な施策	2	民間による公園・緑地の管理運営
事務事業番号	007	事務事業コード 42112007 事業開始年度 平成 2 2 年度 事業終了年度 平成 2 2 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	川上公園便所改修事業
------	------	------------	------------

部 名	都市整備部	グループ名	都市計画・公園 G
-----	-------	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 来園者が安全に安心して快適に公園施設を利用できるよう改修工事を行う。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) (平成 2 2 年度実施) 公園・広場の施設改修 <ul style="list-style-type: none"> ・わらべ公園広場改修 一式 ・緑町広場滑り台改修 一式 ・若草公園スコアボード改修 一式
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 公園広場の施設が改修され、安全・安心・快適に利用できるようになった。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	事業進捗率	%	目標値	100				
			実績値	100				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称 地域活性化・きめ細かな臨時交付金	千円	2,940					0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円						0
合 計			2,940	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費	職 員	千円	727	0				
	嘱 託 員	千円	0	0				
	臨時職員	千円	0	0				
	合 計		727	0				

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 来園者が安全に安心して快適に公園施設を利用できるように、改修等を行う必要がある。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 事業の実施により、施設が改修され、安全・安心・快適に利用できるようになった。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 平成22年度で当事業を終了するが、適切な管理を行い、施設の機能維持を図る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 平成22年度で当事業は終了した。

担当グループによる評価

終 了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	平成22年度で当事業は終了した。
-----	----------------------	------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終 了	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）